

特別養護老人ホーム

とさの里、就職フェア開催！

とさの里の魅力について、ご紹介します



社会福祉法人
土佐市社会福祉事業団



土佐市特別養護老人ホーム「とさの里」

- 従来型で3フロアに分かれ
一般棟が2フロア、認知症専門棟が1フロア
定員124名 介護職員54名の施設です。
- 利用者様の内訳は
平均年齢88.4才、男女比1:5、平均介護度3.95です。

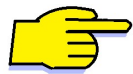


土佐市役所前バス停下車
南へ徒歩5分です



No1

職員の元気な笑顔なくして、利用者様の笑顔はありません



介護職員の健康（腰痛ゼロ）に向けて、ノーリフティング
ケア（持ち上げない・抱え上げない・引きずらない）
の取り組みを行ってきました



業務改善に向けた取り組み

業務改善に向けた勉強会を開催し、ノーリフティングケアが介護職員の業務負担軽減だけでなく、利用者様にとっても緊張を抑え、安心、安楽な生活につながることを学びました。



複数のリフト等福祉機器購入

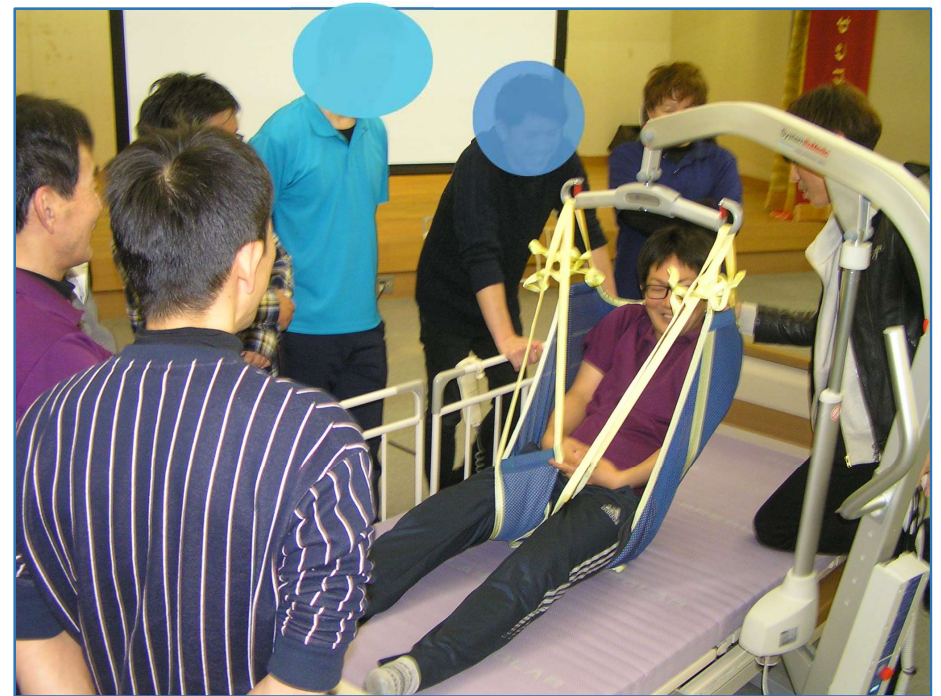
リフト等使用する時間帯は短時間に集中するため、複数のリフト等が必要になります。
リフトが複数あるとリフトを必要とする各居室の近くに置くことが可能になります。



- ◆ 移動式リフト 8台、
- ◆ スタンディングリフト 6台
(ミニリフト3台 スマイル 3台)
- ◆ 他 ロールボード、スライディングボード、
スライディングシート、グローブ等購入

リフト等福祉機器の操作実習

操作の実習は元より、リフト体験することで
利用者様にとっても有効であることを実感しました。



入浴場面でのノーリフティングケア達成

中腰姿勢の介助が多く、持ち上げ、抱え上げ中心の入浴場面からリフト、ボード等福祉機器を活用した利用者様を緊張させない安全な移乗と介護職員の腰痛予防目的にノーリフティングケアの取り組みを始めました。

- ①運動機能別 福祉機器の選択
- ②分かりやすいよう図で示した 福祉機器選択シートの作成
- ③浴室レイアウト、動線の変更

統括責任者・PT・機能訓練指導員が 3か月間指導に入りました。



各フロアで ノーリフティングケア達成

入浴場面でのノーリフティングケア達成経験を、各フロアでのノーリフティングケア達成に生かし取り組みました。

手間がかかる等でリフト導入は思うようには進まず、増して介護職員の少ない朝は困難が多く早朝含めたフロアの指導に2か月間入りました。

- ① 福祉機器が使いやすいよう室内レイアウトの変更
- ② 利用者様の運動機能別居室の変更
- ③ 介護職員動線の変更
- ④ 移動式リフト、ボード等使用しやすいよう設置場所の検討



毎月ノーリフティングケア委員会を開催し 情報交換、意見交換を行っています

現場委員の意見、問題点を吸い上げ
委員会からは提案等 迅速に行うことが出来るようになりました。



第一回「ノーリフティングケア優良事例表彰」で とさの里が、優秀賞に選ばれました!



No2

知識は 介護の自信につながります



個別研修と別に新採研修、全体研修を毎年行っています
学んだ知識は、介護の現場や利用者様の方針を決める
カンファレンスに生かされています



— 今まで行ってきた研修内容例です —

- ◆ 姿勢と動き
- ◆ 認知症ケアについて
- ◆ 誤嚥性肺炎と食事
- ◆ 褥瘡予防とシーティング・ポジショニング
- ◆ ノーリフティングケアを推進するためには
等行っています



No3

利用者様へのレクリエーション活動は、介護を変えます



回想療法、懐かしい歌、ゲーム、集団体操等に介護士も企画し参加しています

レクリエーションを通じ、利用者様の日常の生活にメリハリ、活気が出てくると共に、普段の生活に見られなかった自発的な行動や発語は日頃の介護に生かされています





この写真は利用者様と
介護職員が一緒に作った
神社の写真です。

ご家族との面会、お花見、
秋祭り等が元気で出来る
ことを願って作りました。



高知県は高齢化率全国第2位と言われ、特別養護老人ホーム
「とさの里」は、益々地域社会の中で、重要な役割を担っています
利用者様が、少しでも多く笑顔になっていただけるよう
私たちとやりがいのある仕事をしてみませんか
「とさの里」はあなたを待っています

ご清聴ありがとうございました



社会福祉法人
土佐市社会福祉事業団

